

官報

號外 昭和九年三月十日

○第六十五回 貴族院議事速記録第二十五號

昭和九年三月九日(金曜日)午前十時十一分開議

議事日程 第二十五號

昭和九年三月九日

午前十時開議

第一 請願委員長報告

第二 出版法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第三 出版物納付法案(政府提出)

第一讀會

第四 健康保險法中改正法律案(政府提出)

提出、衆議院送付) 第一讀會

第五 廢兵院法中改正法律案(政府提出)

出、衆議院送付) 第一讀會

○副議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

(角倉書記官朗讀)

一昨七日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

旭川市舊土人保護地處分法案特別委員會

官報號外

昭和九年三月十日

貴族院議事速記録第二十五號

議長ノ報告 會議 委員辭任ノ件 請願委員長報告

二七九

出版物納付法案

同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

民事訴訟法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

健康保險法中改正法律案

廢兵院法中改正法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨

ノ通牒ヲ受領セリ

裁判所構成法中改正法律案

非訟事件手續法中改正法律案

同日第四部ニ於テ豫算委員柴田善三郎君ノ

補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果青木周三君當

選セリ

同日第八部ニ於テ決算委員水野鍊太郎君ノ

補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果久恒貞雄君當

選セリ

同日決算委員第一分科會ニ於テ當選シタル

正副主査ノ氏名左ノ如シ

主査 伯爵後藤 一藏君

副主査 野村 徳七君

同日委員長ヨリ決算委員久恒貞雄君ヲ第一

分科擔當委員ニ選定シタル旨ノ報告書ヲ提

出セリ

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付

ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

第六十五回帝國議會商工省所管事務政府

委員

特許局長官 中松 眞卿君

○副議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ會議ヲ

開キマス、一昨日七日、永田秀次郎君ヨリ

病氣ニ付キ決算委員辭任ノ申出ガゴザイマ

シタ、許可スルコトニ御異議ゴザイマセヌ

カ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト

認メマス、就キマシテハ此選出ノ第六部ニ

於テ、速ニ補闕選舉ヲ行ハレムコトヲ望ミ

マス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ議事日

程ニ移リマス、日程第一、請願委員長報告、

清岡委員長ノ御登壇ヲ望ミマス

(子爵清岡長言君演壇ニ登ル)

○子爵清岡長言君 請願委員會ノ第二回ノ

御報告ヲ致シマス、請願委員會ハ去ル二月

二十二日ニ第三回、三月二日ニ第四回ノ二

回開會イタシマシタ、請願委員分科會ハ、

第一分科會ハ其第三回ヲ去ル二月二十六日

ニ開會シ、採擇十四件、第四回ヲ三月五日

ニ開會イタシ、採擇百十二件、審査未了ニ

屬スルモノ八件ヲ審議イタシマシタ、第二分

科會ハ其第二回ヲ去ル二月二十日ニ開會シ、採擇四件、不採擇一件、審査未了ニ屬スルモノ五件、第三回ヲ去ル二月二十七日ニ開會シ、採擇六件、審査未了ニ屬スルモノ一件、其第四回ヲ三月七日ニ開會シ、採擇十一件、審査未了ニ屬スルモノ五件ヲ審議イタシマシタ、第三分科會ハ其第三回ヲ去ル二月二十六日ニ開會シ、採擇八件、不採擇十二件、審査未了ニ屬スルモノ四件、其第四回ヲ三月五日ニ開會シ、採擇九件、不採擇四件、審査未了ニ屬スルモノ七件ヲ審議イタシマシタ、第四分科會ハ其第二回ヲ去ル二月二十日ニ開會シ、採擇四件、不採擇二件、審査未了ニ屬スルモノ四件、第三回ヲ二月二十七日ニ開會シ、採擇二件、審査未了ニ屬スルモノ二件、其第四回ヲ三月六日ニ開會イタシ、採擇六件、不採擇一件、審査未了ニ屬スルモノ五件ヲ審議イタシマシタ、請願文書表報告ハ、第四回報告即チ第百六十七號ヨリ第百六十八號マデヲ去ル二月二十一日ニ、第五回報告即チ第百六十九號ヨリ第三百六十四號マデヲ二月二十八日ニ、第六回報告即チ第三百六十五號ヨリ第四百六十八號マデヲ三月七日ニ提出イタシマシタ、請願委員會特別報告ハ、二月二十二日ニ第二回報告ヲ、三月二日ニ第

三回報告ヲバ提出イタシマシタ、而シテ請願書受領件數ハ二百件、之ニ連署イタシテ居リマスル請願人ノ數ハ八萬五千五百五十名デ、第一回報告ヲ致シマシタル際ノ請願人ヲ加ヘマスルト二十七萬五千八百六十五名ト相成リマス、次ニ審査經過並ニ結果ヲ御報告ニ及ビマス、第一回委員長報告ノ際文書表ニ未ダ掲載イタシテ居ラナイモノ百二件、第一回委員長報告後ニ受領シタルモノ第百六十九號ヨリ第四百六十八號ニ至ル二百件、合計三百二件デゴザイマス、即チ第四回報告ニ百二件、第五回報告ニ九十六件、第六回報告ニ百四件、之ヲ通ジマシテ三百二件ト相成ルノデアリマス、此外ニ第一回委員長報告ノ際文書表ニ掲載シタルモノ中、審査未了ニ屬スルモノ二十件、之ヲ合計イタシマシテ三百二十二件ト相成リマス、而シテ之ガ審議ノ結果、議院ノ會議ニ付スベシトスルモノ、即チ採擇シタルモノガ百六十七件、議院ノ會議ニ付スルヲ要セズトスルモノ、即チ不採擇ノモノガ二十件、即チ文書表第二十七號、第三十一號、第六十二號、第七十八號、第八十四號、第九十五號、第百號、第百三號、第百十四號、第百五十二號、第百五號、第百九號、第二百十四號、第二百四十二號、第二百五

十號、第二百六十三號、第三百十六號、第三百十九號、第三百二十號、第三百四十八號、以上二十件デゴザイマス、而シテ審査未了ニ屬スルモノ四十一件、尙ホ請願文書表ニ未ダ掲載ニ至ラザルモノ四十五件デゴザイマス、以上ハ昭和九年三月八日午後四時締切マデノ御報告デゴザイマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第二及第三ヲ一括シテ議題トスルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第二、出版法中改正法律案、日程第三、出版物納付法案、政府提出、第一讀會、山本内務大臣

出版法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

昭和九年三月八日

内閣總理大臣 子爵齋藤 實

内務大臣 男爵山本 達雄

出版法中改正法律案

出版法中左ノ通改正ス

第十六條中「曲庇シ」ヲ「煽動シ若ハ曲庇シ」ニ改ム

第二十六條中「政體ヲ變壞シ」ヲ「皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ、政體ヲ變壞シ又ハ」ニ改ム

第二十七條中「風俗ヲ壞亂スル」ヲ「安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スル」ニ改ム

第三十六條 本法ハ發賣頒布ノ目的ヲ以テ音ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ニ音ノ寫調セラレタルモノニ之ヲ準用ス但シ著作者トアルハ吹込者トス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

出版物納付法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

昭和九年三月八日

内閣總理大臣 子爵齋藤 實

文部大臣 男爵山本 達雄

内務大臣 男爵山本 達雄

司法大臣 小山 松吉

出版物納付法案

出版物納付法

第一條 本法ニ於テ出版物ト稱スルハ左ニ掲グルモノヲ謂フ但シ命令ヲ以テ規

定スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

一 發賣頒布ノ目的ヲ以テ印刷術其ノ他ノ機械的又ハ化學的方法ニ依リ作成セラレタル文書又ハ圖書

二 發賣頒布ノ目的ヲ以テ音ヲ機械的方法ニ依リ複製スルノ用ニ供スル機器ニ音ノ寫調セラレタルモノ

第二條 本法ニ於テ定期出版物ト稱スルハ一定ノ題號ヲ用ヒ發行ノ期日ヲ定メ又ハ定メズ六月以內ノ期間ヲ隔テ繼續發行シ内容タル事項ノ性質上終期ヲ豫定スベカラザル出版物ヲ謂ヒ普通出版物ト稱スル定期出版物以外ノ出版物ヲ謂フ

定期出版物ト同一題號ヲ用ヒ臨時發行スル出版物ハ其ノ定期出版物ト看做ス

第三條 本法ニ於テ發行者ト稱スルハ出版物ノ發賣頒布ヲ擔當スル者ヲ謂ヒ印刷者ト稱スルハ出版物ノ作成又ハ寫調ヲ擔當スル者ヲ謂フ

第四條 普通出版物（第一條第二號ニ掲グルモノヲ除ク）ノ印刷者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ印刷終了ト同時ニ現品一部ヲ添ヘ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ）ニ其ノ旨届出ヅベシ

第五條 定期出版物ノ發行者ハ命令ノ定ムル方法ニ依リ日刊定期出版物ニ在リテハ發行開始ト同時ニ、日刊以外ノ定期出版物ニ在リテハ發行開始ノ前日迄

ニ内務省ニ現品二部、發行所所轄ノ道府縣廳（東京府ニ在リテハ警視廳）、地方裁判所檢察局及區裁判所檢察局ニ現品各一部ヲ納付スベシ同一號數ノ定期出版物ニシテ其ノ内容ヲ異ニスルモノニ付亦同ジ

第六條 普通出版物ノ發行者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ到達ニ要スベキ日數ヲ除キ發行開始ノ三日前迄ニ現品二部ヲ添ヘ内務大臣ニ届出ヅベシ

前項ノ届出ハ著作權者ノ連署シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スベシ但シ命令ノ定ムル事由ニ因リ連署ヲ得ルコト能ハザルトキハ其ノ旨ヲ記載スベシ

第七條 引札、張札ノ類ニシテ已ムヲ得ザル事由ニ因リ前條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スノ違ナキモノニ在リテハ其ノ發行者ハ事由ヲ具シ發行開始ノ二十四時間前迄ニ發行地所轄ノ警察署長ニ現品四部ヲ添ヘ届出ヅルコトヲ得

第八條 第五條乃至前條ノ手續ヲ爲シタル出版物ヲ再版スル場合ニ於テハ命令

ノ定ムル所ニ依リ其ノ都度第四條乃至前條ノ手續ヲ爲スベシ但シ改訂増減ヲ加ヘザルモノニ在リテハ現品ヲ納付スルコトヲ要セズ

第九條 本法施行ノ地域外ニ於テ印刷セラレタル出版物ヲ本法施行ノ地域内ニ於テ發賣頒布スルノ目的ヲ以テ其ノ輸入又ハ移入ヲ爲シタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ都度内務大臣ニ其ノ旨届出ヅベシ但シ繼續シテ輸入シ又ハ移入スル定期出版物ニ在リテハ内務大臣ノ許可ヲ受ケ其ノ手續ヲ省略スルコトヲ得

内務大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ出版物ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第十條 官廳ニ於テ發行スル出版物ニ付テハ其ノ發行前ニ現品二部ヲ内務省ニ送付スベシ

第十一條 出版物ノ發行者ハ其ノ發行後直ニ帝國圖書館ニ現品一部ヲ納付スベシ

前項ノ出版物ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 定期出版物ノ發行者ハ之ニ發行者、編輯者及印刷者ノ氏名及住所、發行所及印刷所ノ名稱及所在地、發行

ノ年月日並ニ號數ヲ記載スベシ

第十三條 普通出版物ノ發行者ハ其ノ末尾ニ發行者及印刷者ノ氏名及住所、發行所及印刷所ノ名稱及所在地並ニ發行及印刷ノ年月日ヲ記載スベシ

第十四條 第一條第二號ノ出版物ニ付テハ前二條ノ規定ニ拘ラズ著作物ノ題號、號數、吹込者ノ氏名（數人ノ吹込者アルトキハ其ノ代表者ノ氏名）及發行所ノ名稱ヲ記載スルヲ以テ足ル

第十五條 第五條乃至第九條ノ規定ニ依ル届出又ハ現品納付ヲ爲サザル出版物ニ付テハ其ノ届出又ハ現品納付ヲ爲ス迄地方長官ニ於テ其ノ發賣頒布ヲ差止ムルコトヲ得

第十六條 印刷者第四條ノ規定ニ依ル届出若ハ現品納付ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 第九條ノ輸入者又ハ移入者同條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同ジ

第十七條 發行者第五條乃至第八條ノ規定ニ依ル届出若ハ現品納付ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタルトキハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 出版法第十九條若ハ第二十條

又ハ新聞紙法第二十三條若ハ第二十四條ノ規定ニ依ル内務大臣ノ處分ヲ免ル

ル目的ヲ以テ前二條ノ罪ヲ犯シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 發行者第十二條乃至第十四條ノ規定ニ依ル記載ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

ニ處ス

第二十條 發行者第十五條ノ規定ニ依ル地方長官ノ差止命令ニ違反シタルトキハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス發行者ニ非ズト雖モ情ヲ知リテ其ノ出版物ヲ販賣頒布シタルトキ亦同ジ

第二十一條 本法ニ掲グル罪ニハ刑法併合罪ノ規定ヲ適用セズ

第二十二條 本法ニ掲グル罪(第十八條ノ罪ヲ除ク)ノ公訴ノ時効ハ一年ヲ經過スルニ因リテ完成ス

第二十三條 出版物ノ印刷者、發行者又ハ輸入若ハ移入ヲ爲シタル者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法ノ罪ヲ犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ

得ズ

第二十四條 第十六條第二項ノ罰則ハ出

出版物ノ輸入又ハ移入ヲ爲シタル者法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人

ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人

ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト

同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

出版法第二條乃至第五條、第七條乃至第十一條、第二十二條、第二十四條、第二

十五條及第三十四條ヲ削除ス

豫約出版法第一條中「出版法」ヲ「出版法

及出版物納付法」ニ、同法第三條中「出版法」ヲ「出版物納付法」ニ、同法第十三條

中「新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌」ヲ「新聞紙法ノ適用ヲ受クル出版物」ニ

改ム

新聞紙法第十條、第十一條及第三十三條

ヲ削除シ同法第三十條中「又ハ第十一條ニ違反シ」ヲ削除

本法施行ノ際從前ノ出版法第二條但書ノ

規定ニ依リ發行スル雜誌ニ在リテハ其ノ發行者ハ本法施行ノ日ヨリ三十日以内ニ

限り新聞紙法第四條ノ規定ニ拘ラズ本法第六條ノ規定ニ依リ之ヲ發行スルコトヲ得

本法施行後ニ於テ發行スル出版物ニ付從

前ノ規定ニ依リ爲シタル届出又ハ現品納付ハ之ヲ本法ニ依リ爲シタル届出又ハ現

品納付ト看做ス

(國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル)

○國務大臣(男爵山本達雄君) 只今上程ニ

ナリマシタ出版法中改正法律案ノ提案理由ヲ説明申上ゲマス、近時我が國民ノ一部ニ

ハ矯激ナル思想ヲ抱懷シ、又動モスレバ直接行動ヲ煽動セムトスル者モ少ナカラザル

狀況デゴザイマス、而シテ斯ノ如キ矯激ナル

思想ヲ媒介スル最モ有力ナル手段ハ出版

物デアリマスカラ、出版物ニ對スル取締ヲ十分ニスルコトハ、思想對策上極メテ重要

ナル事柄デゴザイマス、加之前議會ニ於テ

此點ニ關スル御決議ノ次第モゴザイマシタ

ノデ、政府ハ思想對策委員會ヲ設ケ鋭意研

究ノ結果、其方策ノ一トシテ本案ヲ提出イ

タシマシタ次第デゴザイマス、尙ホソレト

同時ニ出版法ノ規定中、不十分ナル點ヲ補足イタシタイト考ヘマス、即チ改正ノ主要ナル點ハ、一、皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆セムトス

規定ヲ設ケタルコト、二、安寧秩序ヲ妨害スル文書圖書ヲ出版スルノ行爲ヲ處罰スルノ規定ヲ設ケタルコト、三、犯罪ヲ煽動ス

ル文書圖書ヲ出版スルノ行爲ヲ處罰スルノ

規定ヲ設ケタルコト、四、蓄音機「レコー

ド」ニ關シ出版法ノ規定ヲ準用スルノ規定

ヲ設ケタルコト等デゴザイマス、何卒御審

議ノ上御協賛アラムコトヲ願ヒマス、第二

ハ出版物納付法案ノ提案理由ヲ説明申上ゲ

マス、出版物ハ思想宣傳ノ有力ナル手段デ

アリマスト共ニ、偽作行爲ヲ爲ス有力ナル

手段トモナルノデアリマス、ソレ故ニ、不

穩ナル出版物ガ隱密ノ間ニ流布セラルル

コトヲ防止シ、又不正出版ヲ少カラシムル

爲ニハ、納本制度ヲ完備スルコトガ必要デ

アリ、又一國ノ文獻ヲ蒐集保存スル上カラ

見マシテモ、納本制度ハ極メテ必要ナコト

デアリマス、納本ニ關スル規定ハ、御承知ノ通り現行出版法及新聞紙法中ニ設ケラレ

テ居ルノデアリマスガ、本法案ニ於テハ、

是等ノ法律ニ規定セラレタル事項ヲ統一イ

タシマスルト共ニ、現行規定ニ於テ不十分

ナル點ニ付キ改正ヲ加ヘムトスルモノデア

リマス、而シテ其改正ノ主要ナル點ハ、一、

普通出版物ノ印刷者ニ對シ届出及納本ノ義

務ヲ課シタルコト、二、輸入又ハ移入セラ

レタル出版物ニ付キ届出ノ制ヲ設ケタルコト、三、雜誌ノ發行者ハ發行開始ノ前日マデニ納本スベキコトニ改メタルコト、四、帝國圖書館ニ對スル納本制度ヲ確立シタルコト、五、納本義務ヲ怠ツタ者、特ニ其惡質ノ者ニ對スル刑罰ヲ加重シタルコト、六、届出又ハ納本ヲ怠ツタ出版物ハ、地方長官ニ於テ其發賣頒布ヲ差止メ得ルノ制ヲ設ケタルコト等デゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○子爵池田政時君 只今議題ニ上ボリマシタ出版物中改正法律案、出版物納付法案、右兩案共重要ナル法案デアリマスガ故ニ、其特別委員ノ數ヲ十五名トシ、其指名ヲ議長ニ一任スルト云フ動議ヲ提出イタシマス

○子爵清岡長言君 池田子爵ノ動議ニ賛成イタシマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 池田子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔小林書記官朗讀〕

出版法中改正法律案外一件特別委員

公爵一條 實孝君 侯爵大久保利武君

侯爵徳川 義親君 子爵野村 益三君
子爵濱尾 四郎君 子爵近衛 秀麿君
男爵紀 俊秀君 内田 重成君
塚本 清治君 男爵千秋 季隆君
男爵井上 清純君 鵜澤 總明君
岩田 宙造君 金成 通君
大谷 尊由君

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第四及第五ヲ一括シテ議題トスルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第四、健康保險法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、日程第五、廢兵院法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、山本内務大臣

健康保險法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和九年三月八日

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵近衛文麿殿

健康保險法中改正法律案

健康保險法中左ノ通改正ス

第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル工場、事業場又ハ事業ニ使用セラルル者ハ健康保險ノ被保險者トス但シ臨時ニ使用セラルル者ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノ及一年ノ報酬千二百圓ヲ超ユル職員ハ此ノ限ニ在ラズ

一 工場法第一條ノ規定ニ依リ同法ノ適用ヲ受クル工場

二 鑛業法ノ適用ヲ受クル事業場又ハ工場

三 左ニ掲グル事業ニシテ常時五人以上ノ労働者ヲ使用スルモノ

(イ) 物ノ製造、加工、選別、包裝、修理又ハ解體ノ事業

(ロ) 鑛物ノ採掘又ハ採取ノ事業

(ハ) 電氣ノ傳導又ハ動力ノ發生若ハ傳導ノ事業

(ニ) 地方鐵道法又ハ軌道法ノ適用ヲ受クル事業

(ホ) (ニ)ニ掲グルモノヲ除クノ外陸上ニ於テ爲ス貨物又ハ旅客ノ運送ノ事業ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノ

前條ノ工場、事業場又ハ事業ヲ除クノ外左ノ各號ノ一ニ該當スル事業ノ事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ事業及之ニ附屬スル事業ニ使用セラルル者ヲ包括シテ健康保險ノ被保險者ト爲スコトヲ得前條ノ工場、事業場又ハ事業ニ附屬スル事業ニ付亦同ジ

一 前條第三號ノ事業ニシテ常時五人未満ノ労働者ヲ使用スルモノ

二 土木工事又ハ工作物ノ建設、保存、修理若ハ破壊ノ工事ニシテ主務大臣ノ指定スルモノ

三 貨物積卸ノ事業

四 前各號ニ掲グルモノノ外勅令ヲ以テ指定スル事業

第十六條 第十三條ノ工場又ハ事業ガ同條ノ規定ニ該當セザルニ至リタルトキハ其ノ工場又ハ事業ニ付第十四條ノ認可アリタルモノト看做ス

附則

本法ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本法實施ノ爲ニ豫メ必要ナル事項ニ關シテハ昭和十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

廢兵院法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議

院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和九年三月八日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿

癡兵院法中改正法律案

癡兵院法中左ノ通改正ス

「癡兵院法」ヲ「傷兵院法」ニ改ム

第一條 戰鬪又ハ戰鬪ニ準ズベキ公務ノ爲傷損ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ軍人又ハ準軍人トシテ恩給法ニ依リ増加恩給ヲ受クル者精神又ハ身體ノ著シキ障礙アリテ收容保護ヲ要スルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ申請ニ基キ傷兵院ニ入院セシム

第二條 普通公務ノ爲傷損ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ軍人又ハ準軍人トシテ恩給法ニ依リ増加恩給ヲ受クル者精神又ハ身體ノ著シキ障礙アリテ收容保護ヲ要スルトキハ申請ニ基キ特ニ傷兵院ニ入院セシムルコトヲ得

第三條 傷兵院ニ入院中ノ者ニハ恩給ノ支給ヲ停止シ其ノ親族ニ扶助料又ハ一時扶助料ヲ給ス
前項ノ扶助料又ハ一時扶助料ノ支給ニ關シテハ恩給法ノ扶助料又ハ一時扶助

料ニ關スル規定ヲ準用ス但シ扶助料ノ年額ハ恩給法第七十五條第一項第三號ノ金額ニ相當スル額トス
傷兵院ニ入院シタル者ノ兄弟姉妹ニシテ第一項ノ一時扶助料ヲ受ケタル者ニハ恩給法第八十一條ノ一時扶助料ヲ給セズ

傷兵院ニ入院シタル者ノ兄弟姉妹ニ對シ第一項ノ一時扶助料ヲ給シタルトキハ爾後他ノ親族ニ對シ給スルコトアルベキ第一項ノ扶助料又ハ恩給法ノ扶助料ノ額ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 傷兵院ニ入院中ノ者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ退院ヲ命ズ
一 恩給法ニ依リ恩給ヲ受クルノ權利消滅シタルトキ又ハ恩給ヲ停止セラレタルトキ

二 收容保護ヲ要セザルニ至リタルトキ
三 懲戒ニ處セラレ改悛ノ見込ナキトキ

第五條中「癡兵院」ヲ「傷兵院」ニ、「收容」ヲ「入院」ニ改ム

第六條中「癡兵院ニ收容シタル者」ヲ「傷兵院ニ入院中ノ者」ニ改ム

第七條中「癡兵院」ヲ「傷兵院」ニ、「癡兵

院基金」ヲ「傷兵院基金」ニ改ム

第八條中「癡兵院基金」ヲ「傷兵院基金」ニ、「癡兵院ニ收容シタル者」ヲ「傷兵院ニ入院中ノ者」ニ改ム

第九條中「癡兵院基金」ヲ「傷兵院基金」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
昭和九年度ニ於テ施行スル傷兵院新營ノ經費ニ充用スル爲第七條ノ規定ニ拘ラズ傷兵院基金ノ内五十萬圓ヲ限り一般會計ニ繰入ルルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ傷兵院基金ヲ繰入レ使用シタルトキハ之ニ依リテ得タル土地及建物其ノ他ノ工作物ハ之ヲ傷兵院基金トス
本法施行ノ際現ニ癡兵院ニ入院中ノ者ハ本法ニ依リ傷兵院ニ入院セシメタルモノト看做ス

（國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル）
○國務大臣（男爵山本達雄君） 只今議題ト相成リマシタ健康保險法中改正法律案ノ要旨ヲ御説明申上ゲマス、現行健康保險法ニ付キマシテハ、強制被保險者トシテ其保護ノ下ニアル者ハ、工場、鑛山労働者ノ一部ノ者約二百萬人デアリマス、併ナガラ傷病ノ場合ニ於キマシテ之ヲ保護シ、其生活

ニ安定ヲ與フル必要アル者ハ、單ニ現在ノ強制被保險者ニ限ラズ、他ニ多クノ労働者、其他少額所得者ガ存スルノデアリマスガ、今回ハ差當リ現行法第十四條ニ依ッテ任意包括被保險者トナリ得ルモノトナッテ居リマス者ノ中、工場法ノ適用ヲ受ケザル工場、鑛業法ノ適用ヲ受ケザル鑛物ノ採掘、採取業、電氣ノ傳導又ハ動力ノ發生、傳導ノ事業、地方鐵道法又ハ軌道法ノ適用ヲ受クル事業、陸上ニ於ケル交通運輸業デアッテ、當時五人以上ノ労働者ヲ使用スル事業ニ使用セラレル労働者ヲモ強制被保險者トシテ、是等ノ者ガ傷病ノ場合ニ於テ十分ノ保護ヲ圖ラムトスルモノデアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ願ヒマス、次ハ癡兵院法中改正法律案デゴザイマスルガ、癡兵院法中改正法律案ノ提案理由ヲ簡單ニ申述ベマス、御承知ノ如ク現行癡兵院法ハ、傷病軍人ノ貧困救済ヲ主タル目的トシテ居ルノデアリマスガ、今回之ヲ改メマシテ、癡兵院ハ戰鬪又ハ公務ニ因リ傷損ヲ受ケ、又ハ疾病ニ罹リマシタル者ノ中、精神又ハ身體ニ著シキ障礙ガアリ、特ニ收容シ保護ヲ爲スノ必要アル者ヲ入院セシムルコトトシ、癡兵院ヲシテ不自由ナル境遇ニ在ル傷病軍人ニ對スル特別ノ施設タラシムルコトト致

シマシテ、一層此制度ノ機能ヲ有效ニ發揮セシムルコトトシタノデアリマス、又癩兵院ナル名稱ハ癩瘡軍人ノ名譽ヲ表彰スルニ適セザル憾ミガアルノデ、之ヲ癩兵院ト改稱スルコトニ致シマシタ、尙ホ現在ノ癩兵院ハ其位置、設備等ニ於テ癩瘡軍人ノ處遇上遺憾ナル狀態ニアリマスノデ、政府ハ昭和九年度ニ於テ移轉改築ヲ爲ス計畫ヲ立テ、之ガ新營ニ要スル經費ヲ豫算ニ計上イタシタノデアリマス、之ガ財源ハ之ヲ現在保有スル癩兵院基金ニ求ムルコトヲ適當ト認メマスノデ、基金蓄積ニ關スル現行規定ニ特例ヲ設ケ、癩兵院新營ニ要スル經費ニ充當スル爲メ、基金ノ中五十萬圓ヲ限り一般會計ニ繰入レルコトヲ得ル途ヲ開クコトト致シマシタ、其他現行法ニハ施行ノ實績ニ徴シ若干ノ整理改正ヲ要スル部分ガアルノデアリマスノデ、是等ニ關シマシテモ併セテ改正スルコトト致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ願ヒマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 兩案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

(小林書記官朗讀)

健康保險法中改正法律案外一件特別委員

公爵島津 忠承君 伯爵松本 宗隆君

子爵梅園 篤彦君 川崎 卓吉君
男爵松尾 義夫君 中川 小十郎君
金杉英五郎君 平尾喜三郎君
金岡又左衛門君

○副議長(伯爵松平賴壽君) 子爵土御門晴善君ヨリ病氣ニ付キ十三日間、佐藤三吉君ヨリ病氣ニ付キ十日間ノ請暇ノ申出ガゴザイマシタ、何レモ許可スルニ御異議ゴザイマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 本日ノ議事ハ是ニテ終了イタシマシタ、次會ノ議事日程ハ決定次第、本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス
午前十時三十七分散會

